

「豊岡市内高校生等の進路等に関する意識調査」結果

市内高校生等の進学・就職意向等を探るため、市内の全高校3年生と但馬技術大学の全学生を対象にしたアンケート調査(表 1)をもとに、進学・就職の2パターンに分けて分析を行った。

表 1 アンケート調査の実施要領(概要)

	高 校	但馬技術大学校
調査対象	【高校名】 ・豊岡高校 229名(31.4%) ・豊岡総合高校 197名(27.0%) ・日高高校 65名(8.9%) ・出石高校 143名(19.6%) ・近大附属豊岡高校 78名(10.7%) ・大岡学園高校専修学校18名(2.5%) ・合計 730名	全校生徒 142名
調査時期	平成20年10月	平成20年10月
回答者の属性	【性別】 ・男 318名(43.6%) ・女 409名(56.0%) ・不明 3名(0.4%) 【在籍学科】 ・普通 453名(62.1%) ・総合 122名(16.7%) ・工業 67名(9.2%) ・商業 15名(2.1%) ・看護 33名(4.5%) ・福祉 31名(4.2%) ・介護 1名(0.1%) ・窯業 1名(0.1%) 【住所地】 ・豊岡市 617名(84.5%) ・養父市 22名(3.0%) ・朝来市 18名(2.5%) ・香美町 36名(4.9%) ・新温泉町 15名(2.1%) ・京丹後市 2名(0.3%) ・その他 16名(2.2%)	【性別】 ・男 133名(93.7%) ・女 9名(6.3%) 【在籍学科】 ・情報工学 43名(30.3%) ・機械制御工学 27名(19.0%) ・自動車工学 49名(34.5%) ・建築工学 23名(16.2%) 【住所地】 ・豊岡市 46名(32.4%) ・但馬地域(豊岡市除く) 43名(30.3%) ・兵庫県内(豊岡市・但馬地域除く) 38名(26.8%) ・兵庫県外 14名(9.9%) ・その他(不明) 1名(0.7%)

(注) ()は構成比。

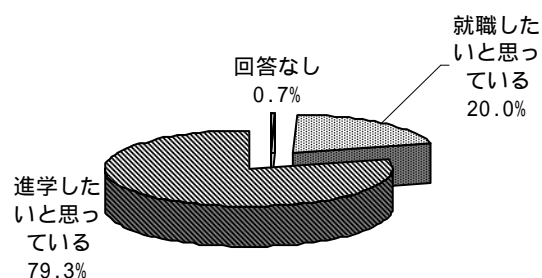
1 学校卒業後の意向

(1) 進学・就職の意向

高校卒業後の進学・就職の意向(図表 2)をみると、「進学したいと思っている」という学生が「就職したいと思っている」という学生を大きく上回り、79%(579名)と高い割合を示しており、学生の進学率の高さがうかがえる。

図表 2 高校卒業後の進学・就職の意向

	回答なし	5
1	就職したいと思っている	146
2	進学したいと思っている	579
	合計	730

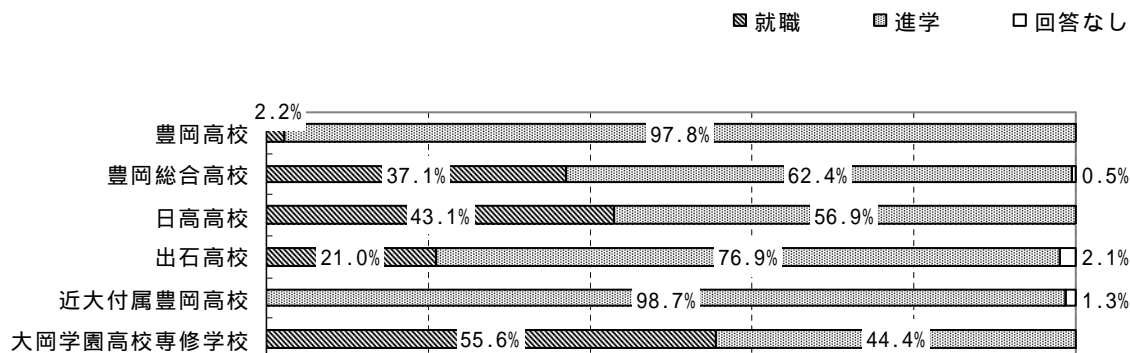


(2) 学校別の進学・就職の割合

学校ごとの進学・就職の割合(図表 3)をみると、進学については「豊岡高校」と「近大附属豊岡高校」の進学率はほぼ100%であり、続いて出石高校が77%と高い割合を示している。一方、就職については「大岡学園高校専修学校」56%、「日高高校」43%、「豊岡総合高校」37%の順となっている。

図表 3 学校別の進学・就職の割合

	高校名	就職	進学	回答なし	計
1	豊岡高校	5	224		229
2	豊岡総合高校	73	123	1	197
3	日高高校	28	37		65
4	出石高校	30	110	3	143
5	近大附属豊岡高校		77	1	78
6	大岡学園高校専修学校	10	8		18
	合計	146	579	5	730



2 就職希望者の意向

(1) 就職したい分野

どのような業種への就職を希望しているのか(図 4)をみると、「製造業」28%、「病院・介護施設・福祉施設」15%と高い割合を示している。これに、「理容・美容・デザイン・ファッション」、「旅行・飲食店・観光」、「一般事務・会計事務」と続いており、広義のサービス業への就職希望が多いのが特徴である。

また、但馬技術高等学校(図 5)についてみると、「製造業」26%、「建築・土木・建設業」16%と高い割合を示しており、学校で習得した知識や技術を生かす業種の希望が半数近くを占めている。

図 4 就職したい分野(高校 N=182)

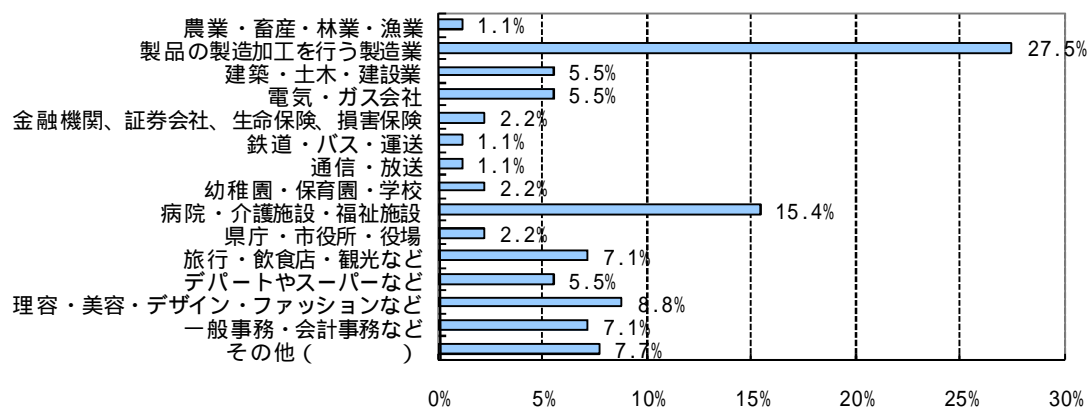
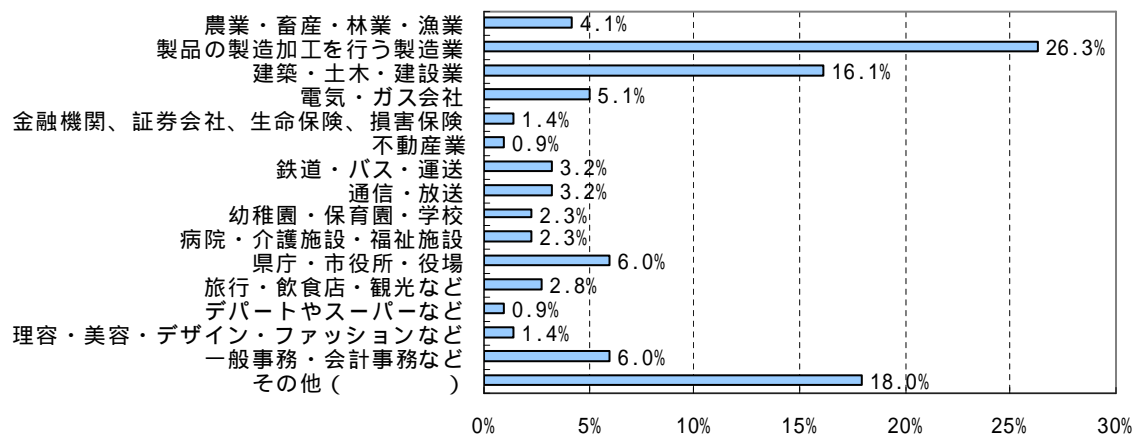


図 5 就職したい分野(但馬技術高等学校 N=217)

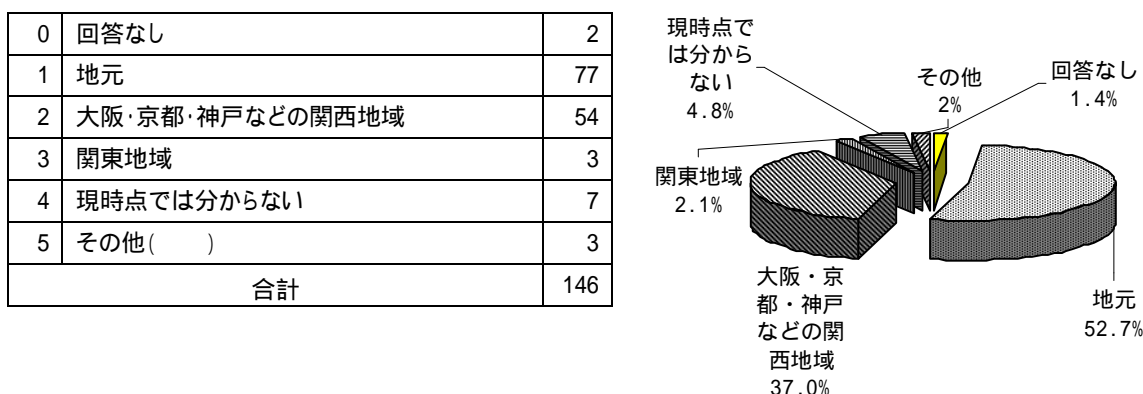


(2) 就職したい地域

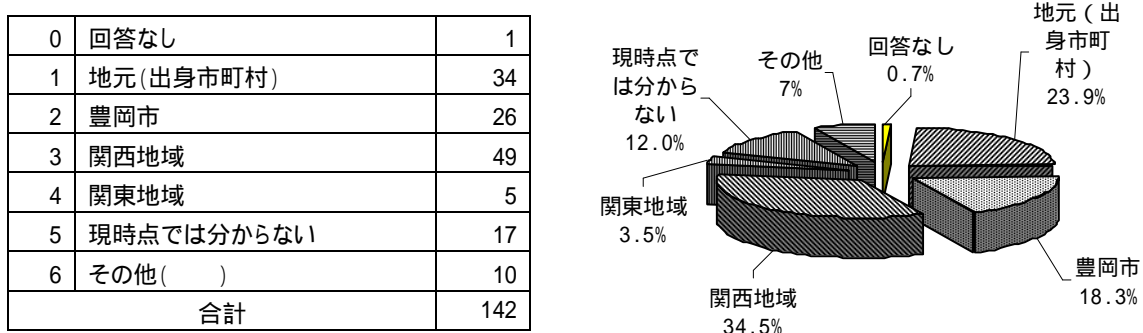
就職したい希望の地域(図表 6)についてみると、「地元」を希望する学生は全体の53%を占めており、地元指向が比較的強い。一方、「大阪・京都・神戸などの関西地域」を中心に「関東地域」など地元以外の地域を希望する学生は41%を占めている。

また、但馬技術高等学校(図表 7)についてみると、「豊岡市」を希望する学生はわずか全体の18%と少数であるが、在校生のうち豊岡市出身者が46名であることを考慮すると、地元志向は57%と高くなる。一方、「地元出身地」や「関西地域」を希望する学生は全体の60%近くを占めている。

図表 6 就職したい地域(高校)



図表 7 就職したい地域(但馬技術高等学校)



(3) 地元での就職・定住の考え

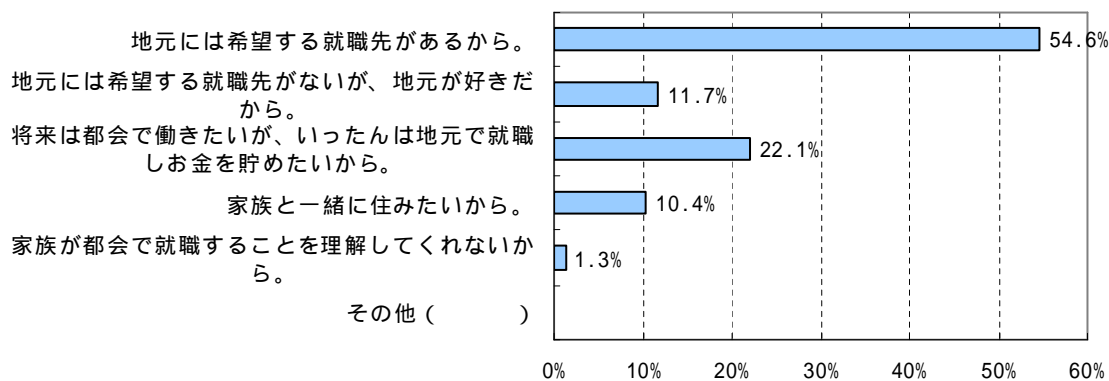
地元で就職したいと考える理由

地元就職希望者(77名)のうち、地元で就職したいと考える理由(図表 8)についてみると、「地元には希望する就職先がある」という理由が55%と最も多いが、「将来は都会で働きたい」という学生が22%占め、少数ではあるが都会指向がうかがえる。

また、但馬技術高等学校(図表 9)についてみると、「豊岡市には希望する就職先がないが、豊岡市が好きだから」という理由が42%と最も多く、「豊岡市には希望する就職先がある」という理由を上回っている。

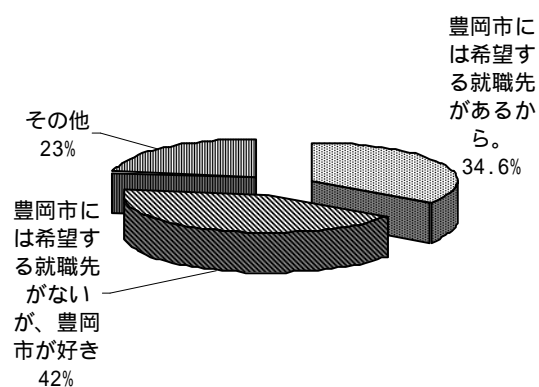
図表 8 地元で就職したいと考える理由(高校)

1	地元には希望する就職先があるから。	42
2	地元には希望する就職先がないが、地元が好きだから。	9
3	将来は都会で働きたいが、いったんは地元で就職しお金を貯めたいから。	17
4	家族と一緒に住みたいから。	8
5	家族が都会で就職することを理解してくれないから。	1
6	その他()	0
合計		77



図表 9 豊岡市で就職したいと考える理由(但馬技術高等学校)

1	豊岡市には希望する就職先があるから。	9
2	豊岡市には希望する就職先がないが、豊岡市が好きだから。	11
3	その他()	6
合計		26

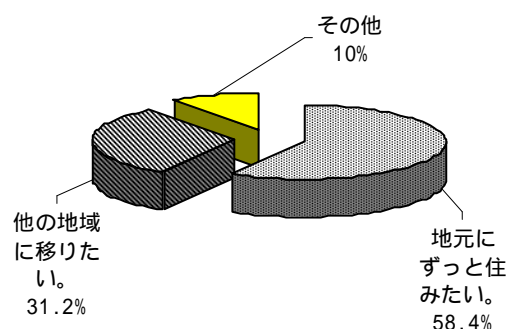


将来における地元定住の意向

地元就職希望者(77名)のうち、将来における地元定住の意向(図表 10)についてみると、「地元ずっと住みたい」という学生が58%と半数以上を占めており、地元での定住意向の高さがうかがえる。

図表 10 将来における地元定住の意向(高校)

1	地元でずっと住みたい。	45
2	他の地域に移りたい。	24
3	その他()	8
合計		77



(4) 地元(豊岡市)以外での就職・定住の考え

地元(豊岡市)以外で就職したいと考える理由

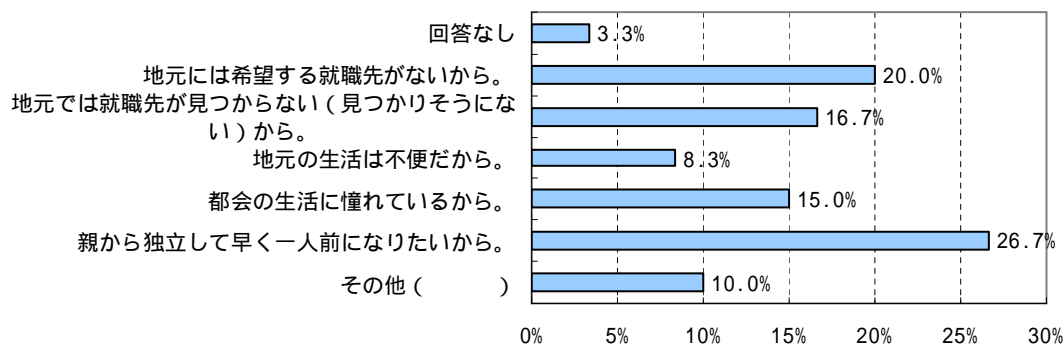
地元以外での就職希望者(60名)のうち、地元以外で就職したいと考える理由(図表 11)についてみると、「親から独立して早く一人前になりたい」という理由が27%と最も多い。これに、「地元には希望する就職先がない」20%、「地元では就職先が見つからない」17%と続き、全体の37%(22名)の学生が地元で就職先がない(見つからない)ため、地元以外で就職を希望する構図となっている。

また、但馬技術大学の豊岡市以外での就職希望者(98名)(図表 12)についてみると、「豊岡市には希望する就職先がない」26%、「豊岡市では就職先が見つからない」17%と続き、全体の43%(42名)の学生が豊岡市で就職先がない(見つからない)ため、豊岡市以外で就職を希望する構図となっている。さらに、「豊岡市の生活は不便だから」という理由が32%を占めており、就職先の有無とは関係なく利便性を重視する学生の意識がうかがえる。

豊岡市(地元)以外での就職希望者を豊岡市(地元)に留まらせるためには、企業は早い段階から企業見学会や職場体験など積極的な取り組みを行うとともに、効果的な採用募集手段を活用し、的確に求人情報を提供することで豊岡市(地元)への就職が促進されるものと思われる。

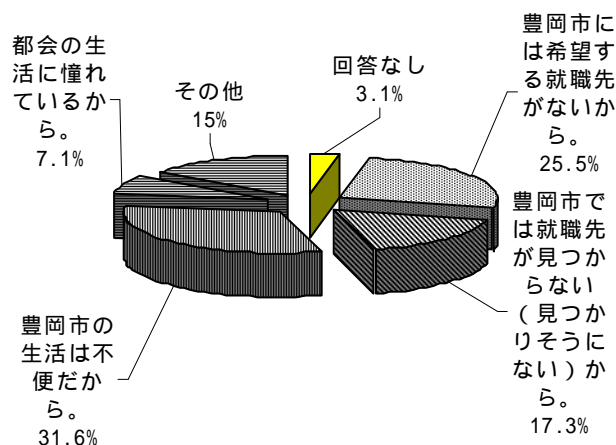
図表 11 地元以外で就職したいと考える理由(高校)

0	回答なし	2
1	地元には希望する就職先がないから。	12
2	地元では就職先が見つからない(見つかりそうにない)から。	10
3	地元の生活は不便だから。	5
4	都会の生活に憧れているから。	9
5	親から独立して早く一人前になりたいから。	16
6	その他()	6
合計		60



図表 12 豊岡市以外で就職したいと考える理由(但馬技術高等学校)

0	回答なし	3
1	豊岡市には希望する就職先がないから。	25
2	豊岡市では就職先が見つからない(見つきりそうにない)から。	17
3	豊岡市の生活は不便だから。	31
4	都会の生活に憧れているから。	7
5	その他()	15
合計		98



将来におけるUターン等の意向

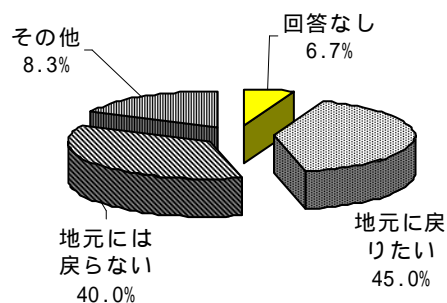
地元以外の就職希望者(60名)のうち、将来におけるUターンの意向(図表 13)についてみると、「地元に戻りたい」という学生が45%あるが、「地元には戻らない」という学生も40%もあり、Uターンしたいと思わせるような地域の魅力を高めるまちづくりを押し進める必要がある。

一方、但馬技術高等学校の豊岡市以外の就職希望者等(116名)(図表 14)についてみると、「豊岡市に戻ることは考えていない」という学生が全体の75%も占めている。この中には、豊岡市出身者以外の学生が多くを占めているものと思われ、いったん豊岡市から離れてしまうと戻っ

てくることがないことが読み取れる。このため、早い段階からの確に求人情報を提供するなど効果的な取組みを行うことで豊岡市内での就職が促進されるものと思われる。

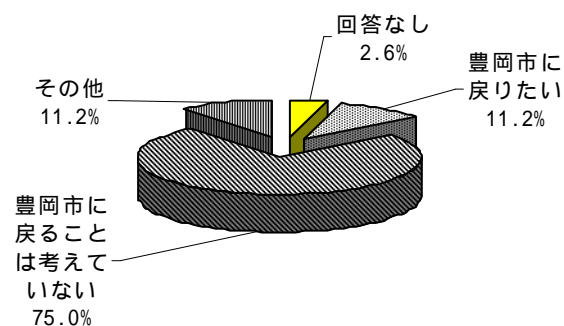
図表 13 将来におけるUターンの意向(高校)

0	回答なし	4
1	地元に戻りたい	27
2	地元には戻らない	24
3	その他()	5
合計		60



図表 14 将来における豊岡市への定住(Uターン)意向(但馬技術高等学校)

0	回答なし	3
1	豊岡市に戻りたい	13
2	豊岡市に戻ることは考えていない	87
3	その他()	13
合計		116



3 進学希望者の意向

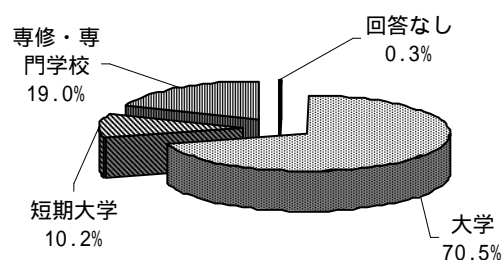
(1) 進学したい学校

進学したい学校(図表 15)についてみると、「大学」71%、「専修・専門学校」19%、「短期大学」10%の順となっている。

また、高校別の進学したい学校(図表 16)についてみると、近大附属豊岡高校と豊岡高校の学生のほとんどが「大学」進学を希望している。一方、日高高校は「専修・専門学校」への進学希望者が「大学」のそれを上回っている。

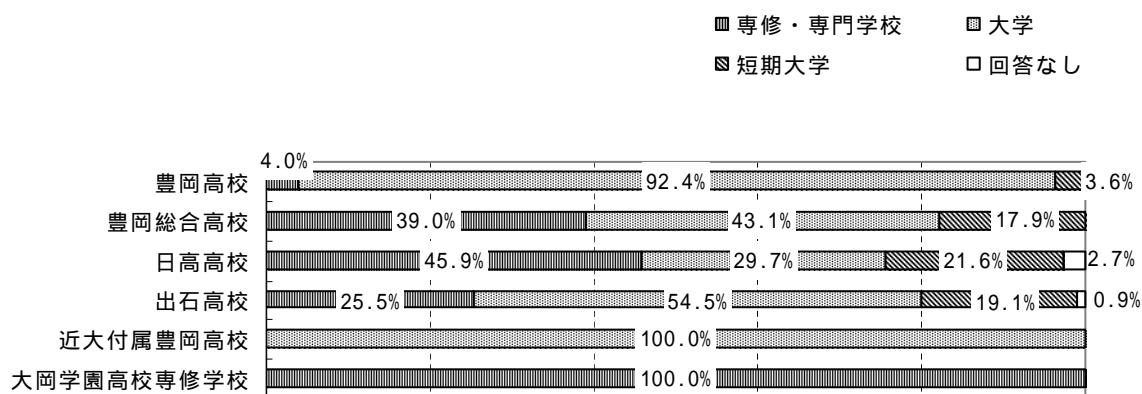
図表 15 進学したい学校

0	回答なし	2
1	大学	408
2	短期大学	59
3	専修・専門学校	110
合計		579



図表 16 高校別の進学したい学校

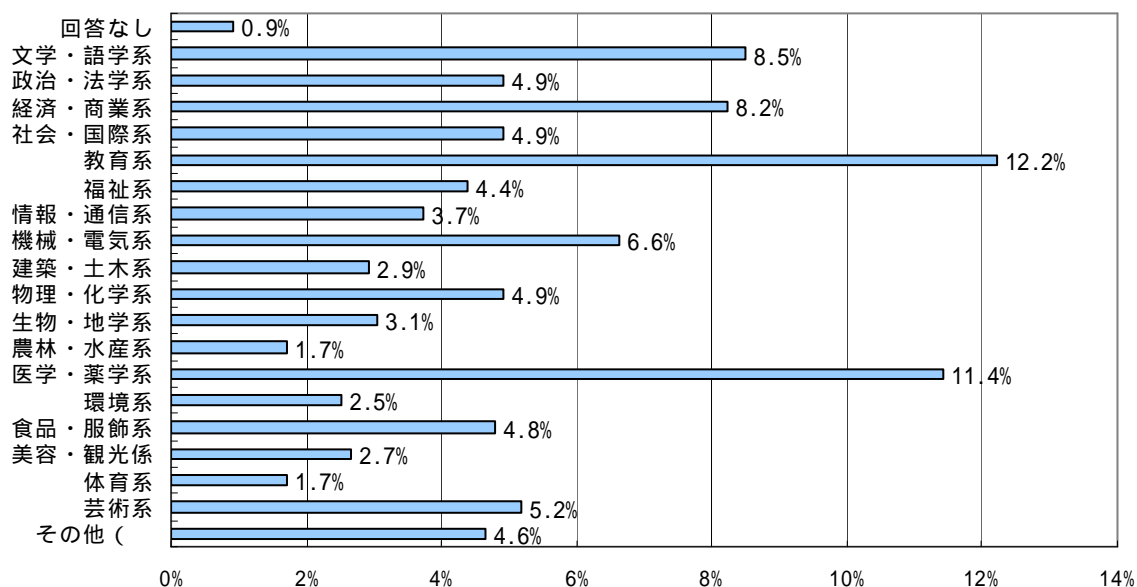
	高校名	専修・専門学校	大学	短期大学	回答なし	計
1	豊岡高校	9	207	8		224
2	豊岡総合高校	48	53	22		123
3	日高高校	17	11	8	1	37
4	出石高校	28	60	21	1	110
5	近大付属豊岡高校		77			77
6	大岡学園高校専修学校	8				8
	合計	110	408	59	2	579



(2) 進学したい分野

どのような分野への進学を希望しているのか(図 17)をみると、「教育系」12%、「医学・薬学系」11%と比較的高い割合を示している。これに、「文学・語学系」、「経済・商業系」、「機械・電気系」と続いており、その他の分野は大差ないことがうかがえる。

図 17 進学したい分野(N=753)

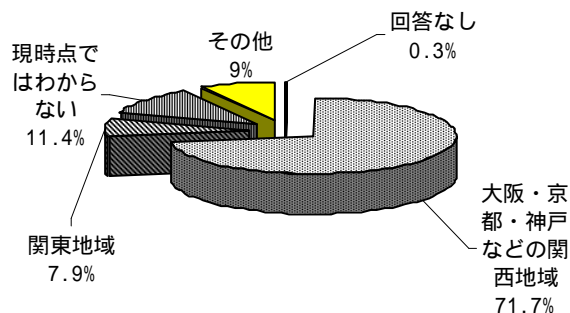


(3) 進学したい地域

進学したい希望の地域(図表 18)についてみると、「大阪・京都・神戸などの関西地域」を希望する学生は全体の72%(415名)と群を抜いている。

図表 18 進学したい地域

0	回答なし	2
1	大阪・京都・神戸などの関西地域	415
2	関東地域	46
3	現時点ではわからない	66
4	その他()	50
合計		579

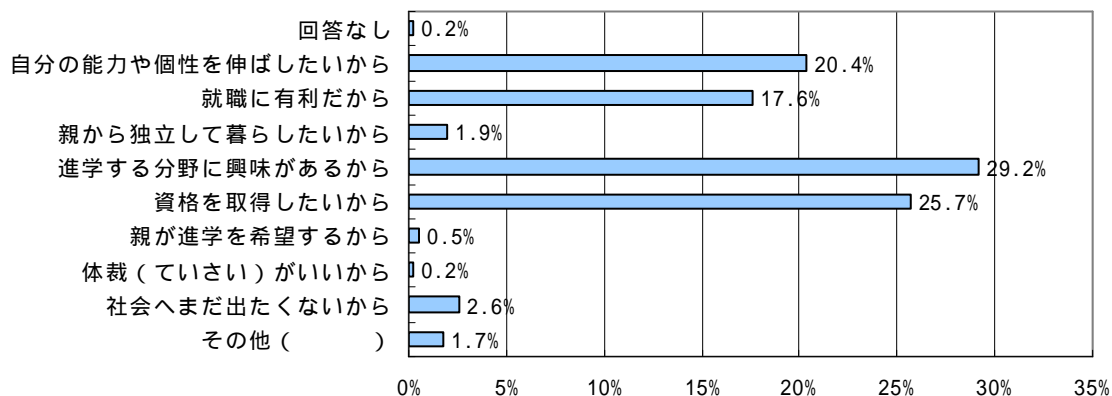


(4) 進学したいと考える理由

進学したいと考える理由(図表 19)についてみると、「進学する分野に興味がある」という理由が29%と最も多く、「資格を取得したい」26%、「自分の能力や個性を伸ばしたい」20%と続いている。

図表 19 進学したいと考える理由

0	回答なし	1
1	自分の能力や個性を伸ばしたいから	118
2	就職に有利だから	102
3	親から独立して暮らしたいから	11
4	進学する分野に興味があるから	169
5	資格を取得したいから	149
6	親が進学を希望するから	3
7	体裁(ていさい)がいいから	1
8	社会へまだ出たくないから	15
9	その他()	10
合計		579



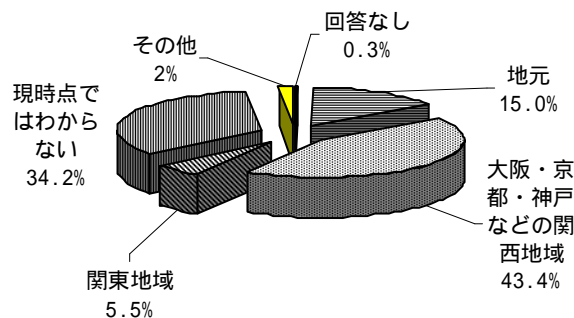
(5) 卒業後の就職・定住意向

卒業後の就職地域

学校卒業後の就職したい地域(図表 20)についてみると、「大阪・京都・神戸などの関西地域」を希望する学生が43%(251名)と最も高い。一方、「地元」を希望する学生は15%(87名)と低いが、「現時点ではわからない」とする態度を留保している学生が34%(198名)も存在し、効果的な採用募集手段を活用し、的確に求人情報を提供することで、地元に戻ってくる可能性が生まれてくると思われる。

図表 20 卒業後の就職地域

0	回答なし	2
1	地元	87
2	大阪・京都・神戸などの関西地域	251
3	関東地域	32
4	現時点ではわからない	198
5	その他()	9
合計		579

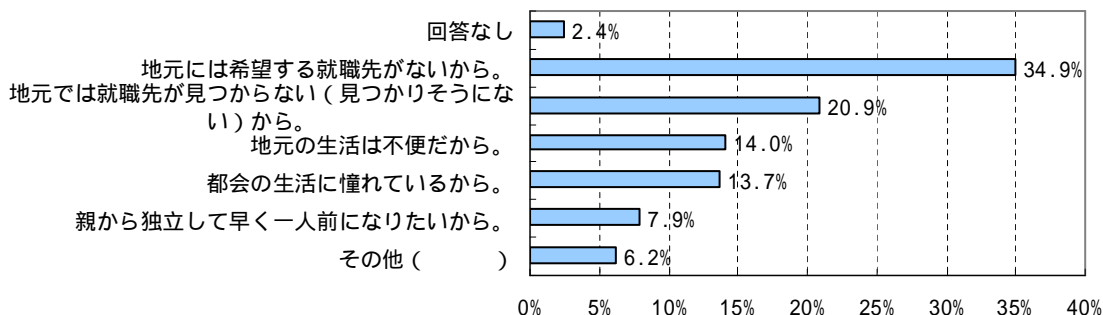


地元以外で就職したいと考える理由

学校卒業後、地元以外での就職希望者292名のうち、地元以外で就職したいと考える理由(図表 21)についてみると、「地元には希望する就職先がない」という理由が35%と最も多い。これに、「地元では就職先が見つからない(見つけられそうにない)から」21%と続き、全体の56%(163名)の学生が地元で就職先がない(見つからない)ため、地元以外で就職を希望する構図となっており、前述のような取組みが求められる。

図表 21 地元以外で就職したいと考える理由

0	回答なし	7
1	地元には希望する就職先がないから。	102
2	地元では就職先が見つからない(見つけられそうにない)から。	61
3	地元の生活は不便だから。	41
4	都会の生活に憧れているから。	40
5	親から独立して早く一人前になりたいから。	23
6	その他()	18
合計		292

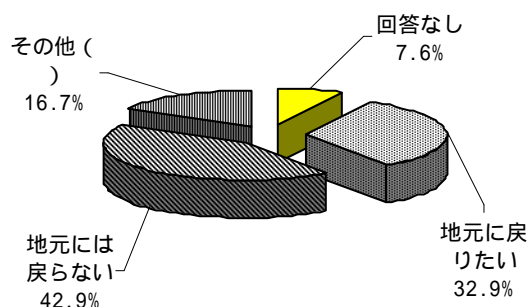


将来におけるUターンの意向

学校卒業後、地元以外就職希望者及び現時点ではわからないという者490名のうち、将来におけるUターンの意向(図表 22)についてみると、「地元に戻りたい」という学生が33%(161名)あるが、「地元には戻らない」という学生は43%(210名)と「地元に戻りたい」という学生を上回っている。このため、Uターンしたいと思わせるような地域の魅力を高めるまちづくりを押し進める必要がある。

図表 22 将来におけるUターンの意向

0	回答なし	37
1	地元に戻りたい	161
2	地元には戻らない	210
3	その他()	82
合計		490



4 期待する豊岡市の取組分野

期待する豊岡市の取組分野(図 23)についてみると、「観光」が20%と高く、続いて「福祉・医療」12%、「交通」12%の順となっている。また、但馬技術大学校(図 24)についてみると、「観光」が19%と高く、続いて「交通」17%、「商業」13%の順となっている。

豊岡市は観光産業の占める割合が高く、さらに観光を推し進めることが豊岡市の発展につながるとイメージしている学生が多い。また、交通や商業面では、公共交通の利便性や買い物や娯楽・文化施設等の充実を求めているものと思われる。福祉・医療の分野は今後の有力な成長産業でもあり、地域にとって不可欠であることから、積極的な取組みが期待されているといえよう。

図 23 期待する取組分野(N = 1176)

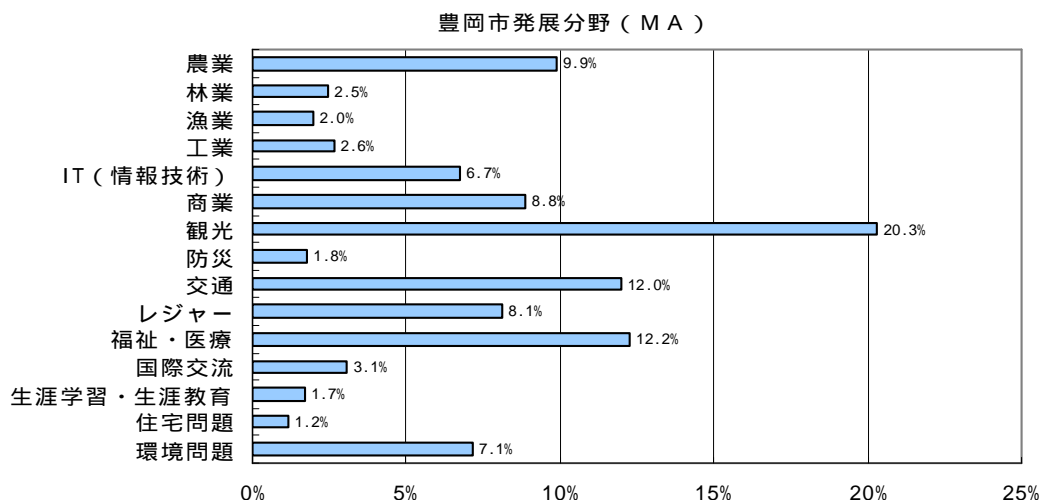
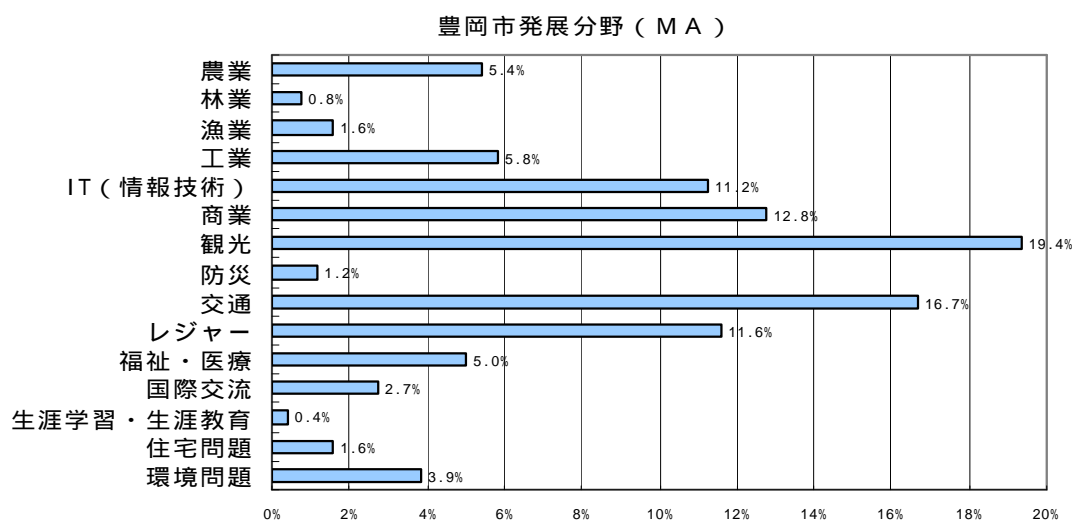


図 24 期待する取組分野(但馬技術大学N = 258)



5 まとめ

高校と但馬技術大学校ごとに、高校を卒業後、豊岡市で就職したいと考えている学生、将来も豊岡市に定住し続けたい学生、将来、豊岡市にUターンしたいと考えている学生について、以下のとおり(図 25)整理した。

図 25 高校生の意向

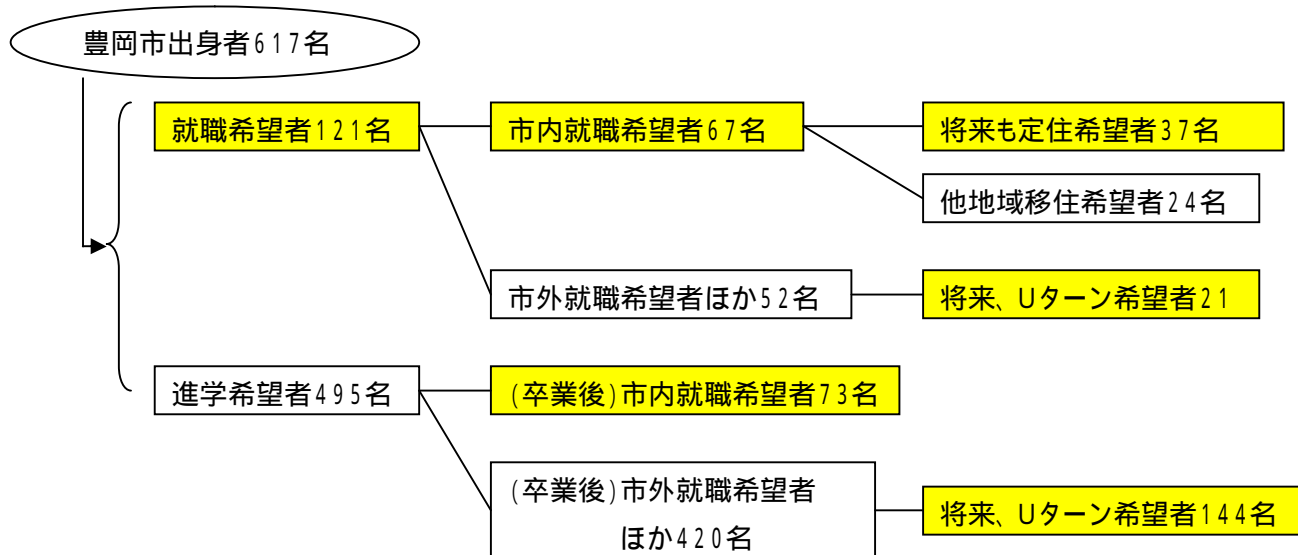


図 26 但馬技術大学生の意向

